

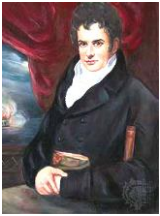
第112回 産業革命②

1 交通革命

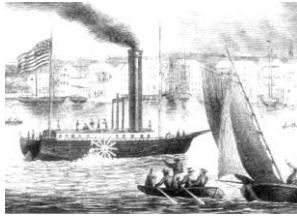
- 産業革命により、大量の原料・製品・石炭などを運ぶ必要が出てきた。
→ ()、舗装された道路に続き、() が発明された。
※これを () という。

() …アメリカ人。1807年、() を発明した。

- トレヴィシック …蒸気機関車を発明したが、実用化には至らなかった。
- () …蒸気機関車の改良に成功し、1825年、ストックトンとダーリントン間に鉄道が開通した（馬車との併用）。
→1830年、() と () 間で、本格的に鉄道の営業運転が開始された。



フルトン
元々は画家であった。彼の発明した蒸気船は、ハドソン川をさかのぼることに成功した。なおこの蒸気船はまだ外輪式であり、スクリューはついていない。



蒸気船クラームント号



トレヴィシック
蒸気機関車の発明者だが、問題が多く、実用化には至らなかった。



スティーヴンソン
スティーヴンソンの蒸気機関車は、38両の車両に600名を載せて、27kmで走った。ちなみに山手線は65~90kmくらい。なお開通初日に、これも世界最初となる人身事故を起こしている。



ロコモーション号

2 産業革命と社会問題

- 産業革命により、機械制工場を経営する () と、彼らに雇われて働くしか生活手段がない () が生まれた。
→両者の関係を基本とする社会を、() 社会と呼んでいる。
- この資本主義社会では、今までにはなかった新たな社会問題が発生した。

<環境問題>

- 労働者が都市の工場へ集まったことから、() が起こった。
→急激な人口増加により、都市の社会環境は悲劇的に悪化した。
→大気や水の汚染、疫病の流行が深刻となった。



映画『オリヴァー・ツイスト』

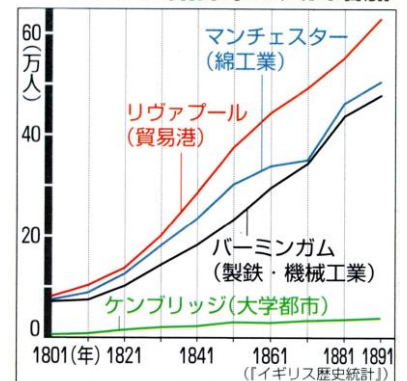
ディケンズ原作の映画『オリヴァー・ツイスト』は、産業革命時のイギリスの下層社会を生々しく描いた。今までに何度も映画化されている作品である。



汚れたテムズ川の風刺画

ロンドンを流れるテムズ川は激しく汚れ、猛烈な異臭により、1856年には議会も中断された。しかし人びとは、生活のためにその水を飲んでいた。

イギリス諸都市の人口増加

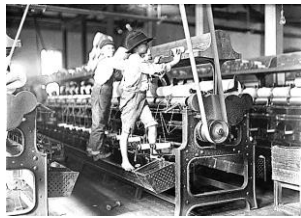


<労働問題>

- ・機械の登場により、熟練技術を持つ職人は仕事を失っていった。
→彼らは、各地で（ ）などを起こした。
※イングランド中・北部の（ ）が最も有名。
- ・多くの（ ）や（ ）が雇われ、劣悪な労働環境で働かされた。
→労働者は（ ）を結成するなどして、労働運動を行うようになったが、政府は団結禁止法によってこれを禁止した。
→団結禁止法は1824年に廃止され、労働組合の結成が認められた。
- ・また（ ）らの努力により、しばしば（ ）が出されて、労働条件の改善がはかられた。
※特に1833年の一般工場法では、18歳未満の夜間労働禁止・労働時間の制限・工場監督制などが規定された。



働く女性や子供の労働者



機械の導入により単純作業が多くなり、技術を持たない女性や子供が、安い給料で雇われた。1日16~18時間労働が普通であった。



「聖月曜日」

中世末期以来、日曜日に酒を飲んだら、その流れで月曜日も仕事を休んでしまうという習慣があった。産業革命期にもあったが、徐々に失われて行った。

3 各国の産業革命

- ・イギリスは、他の国に先駆けて産業革命を成し遂げ、圧倒的な工業力と海軍力を背景にして「 」と呼ばれる繁栄を経験していた。
→19世紀前半は、「 」の状態となった。
→イギリスは、原料供給地とさらなる市場の確保が必要となり、世界各地で植民地支配や経済的な支配を進めていった（世界経済の再編成）。

- ・1830年代から、他のヨーロッパ諸国も産業革命を迎えていった。
→ヨーロッパ諸国を中心に、世界の一体化がさらに進んでいった。

1760年代…世界に先駆けて、（ ）で産業革命が始まった。

1830年代…（ ）では、フランス革命やナポレオン戦争の混乱が収まった後に徐々に産業革命が進んだ。

また1830年にオランダから独立した（ ）は、イギリスに近く石炭や鉄の資源にも恵まれていたため、産業革命が進んだ。

1840年代…1834年にドイツ関税同盟を発足させ、経済的な統一を進めていた（ ）地域では、プロイセンを中心に産業革命が進んだ。

（ ）では商工業が発展していた北部で産業革命が進んだ。

1890年代…農奴解放令などで労働者が生まれていた（ ）や、明治維新以降に近代化が進んだ（ ）でも産業革命が進んだ。